

# みんな未来にちょっといいこと!

キーワードは…

E



環境  
Environment

S



社会  
Social

G



企業統治  
Governance

企業の長期的な成長のためには、ESGが示す3つの観点が必要だという考え方が世界的に広まってきています。日清食品グループは、消費者、株主、投資家、地域社会、地球環境など、あらゆるステークホルダーの立場に立って、企業活動が社会に与えるすべての影響に責任を持ち、世の中に「食」の楽しみや喜びを提供し続けることを通じて、社会や地球のサステナビリティ(持続可能性)に貢献していきます。

## E 今後も地球環境にやさしい商品をお届けします

WINA(世界ラーメン協会)は、2018年8月22日(水)と23日(木)、「第9回世界ラーメンサミット大阪」を開催し、今後のWINAの活動方針である「大阪宣言」の表明を行いました。本サミットを通じ、インスタントヌードルはライフサイクルアセスメント\*においてCO<sub>2</sub>排出量の極めて少ない商品であり、十分な栄養素とカロリーを兼ね備えていることを確認しました。食品産業全体として、そして当社グループとしても、従来の優位性に加えて、さらなる環境負荷削減には強い意志をもって取り組み、今後も地球環境にやさしい製品を皆様にお届けしてまいります。

\*ライフサイクルアセスメント:ある製品の環境負荷を総合的に評価する方法

## S 健康経営宣言を公表しました

当社グループでは、従業員の健康を経営上の最重要課題の1つと考えています。この方針を明確にするため「日清食品グループ健康経営宣言」を発表しました。

### 日清食品グループ健康経営宣言

「美健賢食」—美しく健康な体は賢い食生活から—  
食を通じてお客様の健康づくりに貢献することは、私たちの大きなミッションの一つです。  
そのためには、まず社員が健康でなければなりません。当社グループは、社員の心身の健康保持・増進を、重要な経営課題と位置付けます。社員の自主的な健康活動を期待し、会社はこの積極的支援や、社員が健康に働ける労働環境づくりに、取り組んでいきます。

## コミュニケーション広場

Nissin  
Communication Park

日清食品グループは、株主様とのコミュニケーションを大事にしています。

ここでは6月に開催した第70期定時株主総会において、株主様からいただいたご質問やご意見を一部ご紹介します!



過去最高となる  
2,320名の株主様に  
ご出席いただきました。



**Q** 海外進出先やインバウンドの関係で、ハラール認証を受けた製品開発の予定はあるのか。また、ハラール製品が流通する地域への進出計画はあるか。

**A** 海外でハラール認証製品を製造している拠点はインドネシア、インドにあります。今のところ国内での製品開発は考えていませんが、需要に応じて、輸入などの対応は検討しています。また、ハラール対象の地域にも可能性があり、トータルでビジネスを拡大していきたいと考えています。

**Q** 100~299株の株主優待が年1回になるのは理解しているが、夏の配送ということになれば、カレンダーは入らないのか。

**A** 冬は物流事情がひっ迫し、夏以上に配達の違いが遅れが懸念されたこともあり、慎重な検討の結果、夏に発送させていただくこととしました。カレンダーへのご要望は、貴重なご意見としてお預かりさせていただきたいと思っております。

ご応募いただきました100~299株の株主様から、抽選でカレンダーをお送りさせていただくこととしました。応募方法に関しては別途ご案内の『「チキンラーメン卓上カレンダー」抽選による送付のご案内』をご参照ください。

**Q** 中期経営計画で将来的には海外営業利益比率50%以上と言っているが、昨今の貿易摩擦や新興国の通貨安について対策や見通しをもっているのか。

**A** 経済が保護主義化していく中で、関税や為替問題がどこまでエスカレートするかは不透明です。当社グループは、品質が良く、安全基準に合致する原材料を、日本でも海外でも使用する方針で、フレキシブルな対応で解決可能と考えています。なお、製品は、現地生産・現地販売を基本としています。

